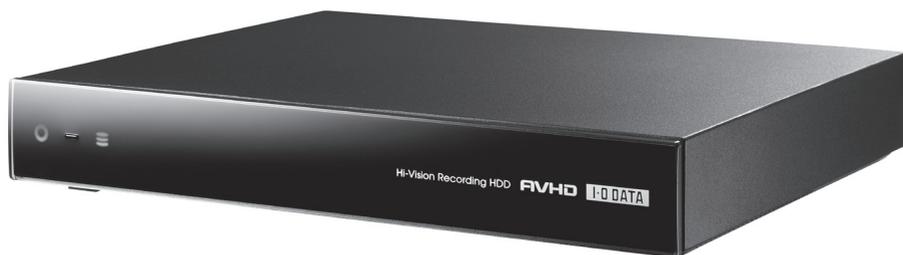


取扱説明書

録画用ハードディスク
AVHD-VR シリーズ



- 【ハードウェア保証書】は本製品の箱に印刷されています。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。
詳しくは、本製品の箱に印刷されている【ハードウェア保証規定】をご覧ください。
- 【安全のために】、【使用上のご注意】を必ずご確認ください。(22～24 ページ)

もくじ

はじめに.....	3
内容物を確認する.....	3
つなぐ.....	4
テレビにつなぐ場合.....	5
チューナー/レコーダーにつなぐ場合.....	5
本製品を複数台つなぐ場合.....	6
つないだ機器に登録する.....	7
〈レグザ〉 Z10X シリーズ.....	8
アクオス W20 ライン.....	10
ブラビア X9500B シリーズ.....	12
リアル A-BHR6 シリーズ.....	14
Wooo Z2 シリーズ.....	15
LG 製テレビ LA9600 シリーズ.....	16
LG 製テレビ LB6700 シリーズ (Web OS 搭載機種).....	17
仕様.....	18
動作環境.....	18
各部の名称・機能.....	19
ハードウェア仕様.....	21
お守りください.....	22
安全のために.....	22
使用上のご注意.....	24
アフターサービス.....	25
お問い合わせについて.....	25
修理について.....	26

はじめに

【重要】データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

●バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVDなど)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

内容物を確認する

- ハードディスク (1 台)
- 電源コード (1 本) [約 1.5m]
- USB ケーブル (1 本) [約 1.5m]
- 取扱説明書 (本書)

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしてください。シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

つなぐ

本製品をはじめてつなぐ際は、テレビ/チューナー/レコーダーに本製品を登録してください。

※対応機器は、【動作環境】(18 ページ)でご確認ください。

ご注意

- テレビ/チューナー/レコーダーの操作については、各メーカーにお問い合わせください。(弊社ではサポートをおこなっておりません。)
- 登録/録画した番組について
 - ・登録は、はじめてつなぐ時のみです。次回からは必要ありません。
 - ・本製品をテレビ/チューナー/レコーダーに登録すると、本製品内のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、事前に他のメディア(HDDやDVDなど)に移動してください。
 - ・録画した番組が保存されている本製品を、他の機器につないで再生はできません。他の機器に登録すると、すでに保存されている番組はすべて消去されます。
 - ・パソコンとテレビ/チューナー/レコーダーで本製品を併用することはできません。テレビ/チューナー/レコーダーで登録、初期化すると、そのテレビ/チューナー/レコーダー専用のフォーマットになります。
 - ・故障などの理由でテレビ/チューナー/レコーダーや本製品を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。
- 使用について
 - ・テレビ/チューナー/レコーダーを視聴していなくても、番組表の更新でテレビ/チューナー/レコーダーの電源がオンになることがあります。この場合、本製品の電源もオンになります。
 - ・本製品を取り外す場合は、テレビ/チューナー/レコーダーの取り外し手順にしたがってください。録画中などに誤って本製品の取り外し、電源をオフにすると、データの破損、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

本製品をつなぐテレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書を参照してください

①もくじを開き、USB HDD 接続関連のページを探す

※以下の項目例を参考にしてください。

項目例：【USB ハードディスクの接続をする】

【USB ハードディスクをつかう】

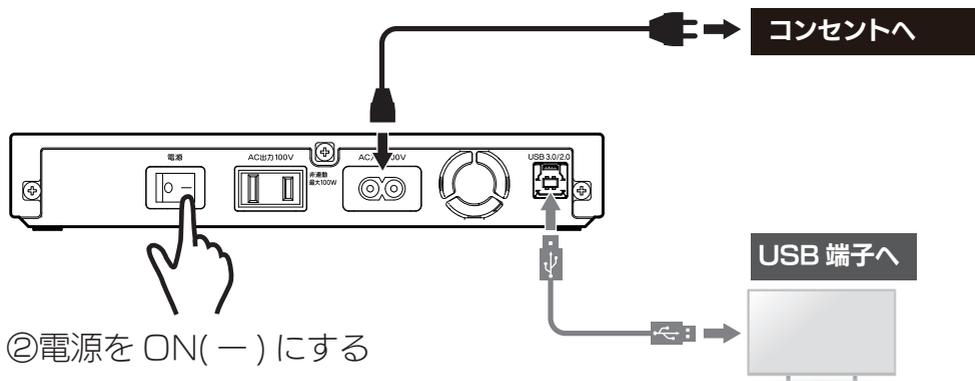
【USB ケーブルでつなぐ】

② USB HDD 接続関連のページで、本製品をつなぐ USB 端子を確認する

※録画用 HDD は、つなぐ端子が決まっている場合があります。

テレビにつなぐ場合

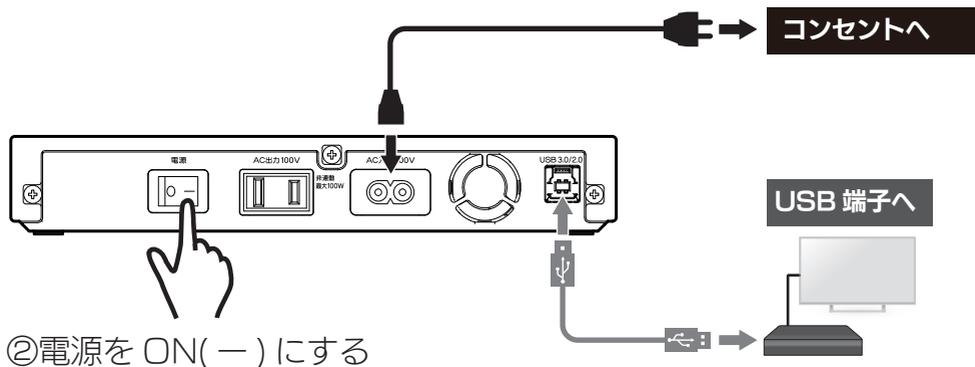
①添付の電源コードをつなぐ



③添付の USB ケーブル
でテレビとつなぐ

チューナー / レコーダーにつなぐ場合

①添付の電源コードをつなぐ



③添付の USB ケーブル
でチューナー / レコー
ダーとつなぐ

ランプの明るさや色を切り替える

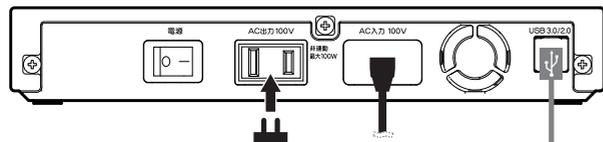
ランプの明るさや色を切り替えることができます。

設定方法は、【各部の名称・機能】(19 ページ) をご覧ください。

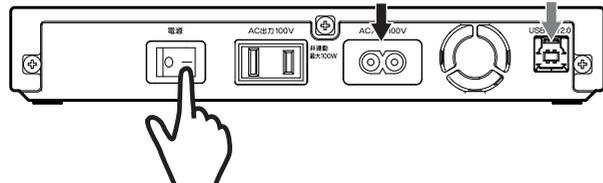
本製品を複数台つなぐ場合

- ① 2 台目の電源コードを 1 台目のサービスコンセントにつなぐ
※サービスコンセントは本製品の増設専用です。本製品以外の機器は接続できません。

1 台目の本製品



2 台目の本製品

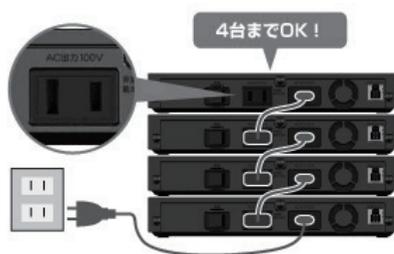


- ③ 添付の USB ケーブル
でテレビ/チューナー
/レコーダーとつなぐ

②電源を ON(-) にする

4 台まで接続可能です

登録した HDD 番号などを明確にするため、
1 台ずつ接続し、登録してください。



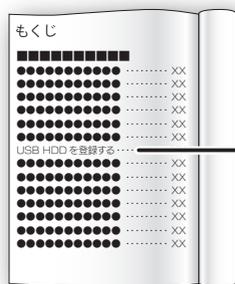
このあと、接続した機器で本製品の登録作業をおこないます。
(初回のみ)

【つないだ機器に登録する】(7 ページ) へお進みください。

つないだ機器に登録する

本製品をつないだ機器のリモコンを操作して、本製品に登録します。
本製品をつないだテレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書を準備してください。

1



もくじを開き、USB HDD
登録関連のページを探す
※項目例を参考にしてください。

項目例

- USB ハードディスクを本機に登録する
- USB ハードディスクを初めてつなぐ
- USB ハードディスクを初期化する

2

上記操作方法のページを開き、手順を確認する

テレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書の手順にしたがって、登録します。

これで、登録はできました。

録画、再生、本製品の取り外し方法については、テレビ/チューナー/レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

【参考】以下の機種については、本書で登録方法を説明しています

※非対応の機種もあります。【動作環境】(18 ページ)をご確認ください。

※本書の手順は一例です。モデルにより異なる場合がありますので、必ずテレビの取扱説明書をご確認ください。

- 〈レグザ〉 Z10X シリーズ (8 ページ)
- アクオス W20 ライン (10 ページ)
- ブラビア X9500B シリーズ (12 ページ)
- リアル A-BHR6 シリーズ (14 ページ)
- Wooo Z2 シリーズ (15 ページ)
- LG 製テレビ LA9600 シリーズ (16 ページ)
- LG 製テレビ LB6700 シリーズ (Web OS 搭載機種) (17 ページ)

1 〈レグザ〉の電源をオンにする

2

通常録画用機器の登録 (端子C)
新しいUSBハードディスクを検出しました。
通常録画用に登録しますか？
登録時にハードディスクは初期化されます。

はい

いいえ



[はい]を選び、

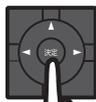
決定を押す

3

通常録画用機器の登録 (端子C)
登録時にUSBハードディスクを初期化します。
よろしいですか？
接続されたハードディスクの内容は消去されます。

はい

いいえ



[はい]を選び、

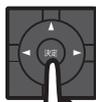
決定を押す

4

通常録画用機器の登録 (端子C)
登録名: ハードディスク1
登録名を変更しますか？

はい

いいえ



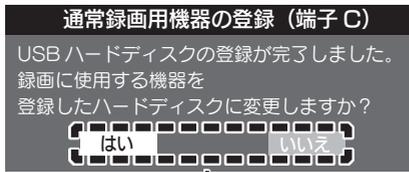
[いいえ]を選び、

決定を押す

▼
初期化がはじまります。

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[はい]を選び、画面の指示にしたがいます。

5

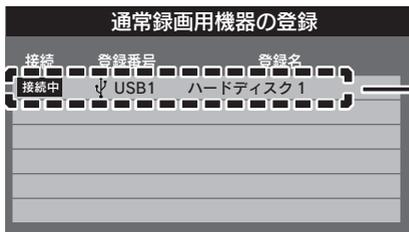


説明を読み、
[はい]または
[いいえ]を選び、

決定を押す

※本製品をリモコンの **録画** を押しての録画や予約録画する機器にする場合は、
[はい]を選びます。
この設定は、録画や録画予約の際に変更することができます。

6



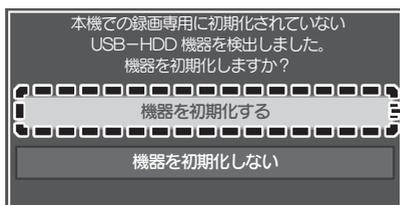
登録内容を確認し、

決定を押す

これで登録はできました。

1 アクオスの電源をオンにする

2



[機器を初期化する] を選び、
決定 を押す

手順2の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください

①リモコンの  ホーム ボタンを押し、[設定] を選び、決定 を押す

② [設定アイコン (視聴設定)] を選び、決定 を押す

③ [USB - HDD 設定] を選び、決定 を押す

④  [機器の初期化] の [する] を選び、決定 を押す

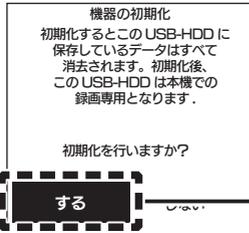
このあと、上記手順2の画面が表示されます。

3



[する] を選び、
決定 を押す

4



[する]を選び、
決定を押す



初期化がはじまります。

5



内容を確認して、
[確認]を選び、
決定を押す

6

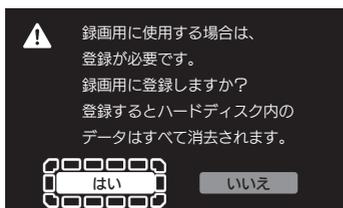


登録された本製品を
選び、決定を押す

これで登録はできました。

1 ブラビアの電源をオンにする

2



[はい]を選び、

決定を押す



手順2の画面が表示されなかった場合は以下の手順にしたがってください

①リモコンの **ホーム** ボタンを押し、画面右上の  (設定) を選び、決定を押す

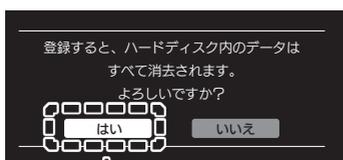
②  **機能設定**
本機を便利につかうための設定をします。 → [機能設定] を選び、決定を押す

③  **録画用 HDD (ハードディスク) 設定**
[HDD 録画] と書かれた USB 端子につないだハードディスクの設定をします。 → [録画用 HDD (ハードディスク) 設定] を選び、決定を押す

④  **録画用に登録**
接続中のハードディスクを録画用に登録します。 → [録画用に登録] を選び、決定を押す

このあと、上記手順2の画面が表示されます。

3

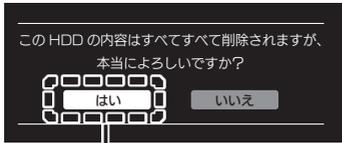


[はい]を選び、

決定を押す

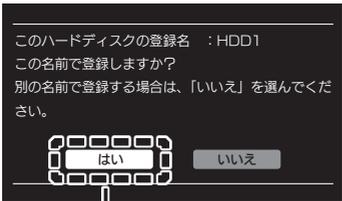


4



[はい]を選び、
決定を押す

5



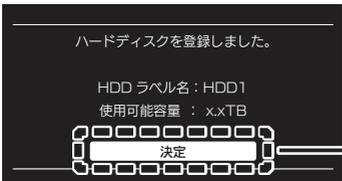
[はい]を選び、
決定を押す



初期化がはじまります。

※登録名に表示される名称は、お使いの環境によって異なります。
変更する場合は、[いいえ]を選び、画面の指示にしたがいます。

6

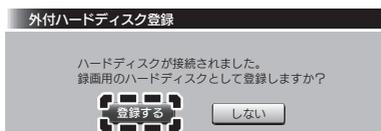


[決定]を選び、
決定を押す

これで登録はできました。

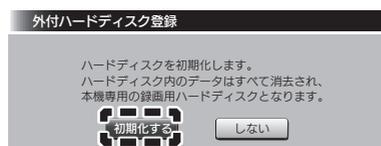
1 リアルの電源をオンにする

2



[登録する]を選び、
決定を押す

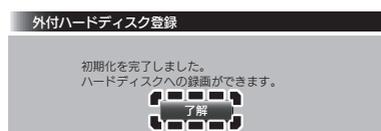
3



[初期化する]を
選び、
決定を押す

▼
初期化がはじまります。

4



[了解]を選び、
決定を押す

これで登録はできました。

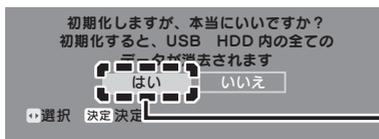
Wooo Z2 シリーズ

1 Wooo の電源をオンにする

2

[はい]を選び、
決定を押す

3

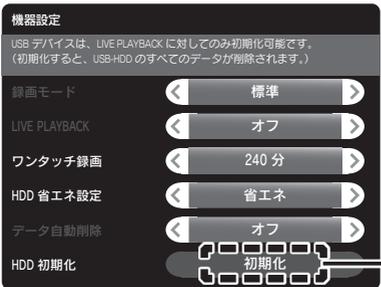
[はい]を選び、
決定を押す▼
初期化がはじまります。

4 「USB HDD を登録しました」と表示されることを確認する

これで登録はできました。

- 1 テレビの電源をオンにする
- 2 リモコンの[ホーム[🏠]] ボタンを押す
- 3 [録画設定] を選び、 を押す
- 4 [機器設定] を選び、 を押す

5



機器設定

USB デバイスは、LIVE PLAYBACK に対してのみ初期化可能です。
(初期化すると、USB-HDD のすべてのデータが削除されます。)

録画モード < 標準 >

LIVE PLAYBACK < オフ >

ワンタッチ録画 < 240 分 >

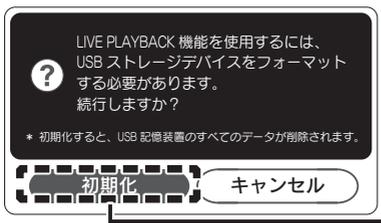
HDD 省エネ設定 < 省エネ >

データ自動削除 < オフ >

HDD 初期化 

[初期化] を選び、 を押す

6



?

LIVE PLAYBACK 機能を使用するには、
USB ストレージデバイスをフォーマット
する必要があります。
続行しますか？

* 初期化すると、USB 記憶装置のすべてのデータが削除されます。

 キャンセル

[初期化] を選び、 を押す

▼
初期化がはじまります。

- 7 「初期化は終了しました。」 と表示されたことを確認する

これで登録はできました。

LG 製テレビ LB6700 シリーズ (Web OS 搭載機種)

テレビにつなぐとすぐに利用できます。
(登録や初期化設定などはありません。)

「接続に失敗した」などと表示され、使用できない場合

一度他の AV 機器で使用したなどの理由により、本製品の出荷時フォーマット形式である NTFS から変更された可能性があります。

お使いのテレビには外付 HDD をフォーマットする機能が無いため、パソコンを利用し、本製品を NTFS 形式にフォーマットしてからお試しください。

フォーマット方法については、【画面で見るマニュアル (Windows 編)】をご覧ください。

●画面で見るマニュアルの見かた

弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib/>) にアクセスし、箱や本製品に記載の型番で検索してください。

仕様

動作環境

USB 3.0/2.0 を装備した以下の機器に対応しています。

テレビ※1	東芝 ハイビジョン液晶テレビ (レグザ) シャープ 液晶テレビ [ICC PURIOS] シャープ 液晶テレビ [アコス] ソニー 液晶テレビ (ブラビア) 日立 液晶テレビ [Wooo] 三菱 液晶テレビ (リアル) LG Electronics Japan 液晶テレビ
レコーダー※1	東芝 ブルーレイディスクレコーダー [レグザブルーレイ] 東芝 ブルーレイディスクレコーダー [レグザサーバー] 東芝 ハードディスクレコーダー [レグザサーバー] シャープ ブルーレイディスクレコーダー [アコスブルーレイ] ソニー [ブルーレイディスクレコーダー] 三菱 ブルーレイディスクレコーダー [REAL ブルーレイ] LG Electronics Japan ブルーレイレコーダー
Windows パソコン※2※3	Windows 8.1(32/64 ビット版) Windows 8(32/64 ビット版) Windows 7(32/64 ビット版)
Mac ※2※3	Mac OS X 10.7 ~ 10.10

※1 3.0TB以上の容量に対応していないモデルがあります。詳しくは、以下の対応検索エンジン「PIO」でご確認ください。

※2 USB 3.0の動作は、弊社製 USB 3.0 インターフェイスで確認しています。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。

※3 USB 3.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS (ドライバを含む) が USB 3.0 に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 2.0 として動作します。

最新の対応機種情報

対応検索エンジン「PIO」をご覧ください。

<http://www.iodata.jp/pio/kaden.htm>



パソコンで使用する場合は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください

弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib/>) にアクセスし、箱や本製品に記載の型番で検索してください。

各部の名称・機能

パワーランプ

点灯 (設定色)	電源 ON
薄赤点灯	スタンバイ時
消灯	電源 OFF
赤点滅	ファン故障時 ※修理をご依頼ください。



アクセスランプ

グリーン	再生中
レッド	録画中
オレンジ	録画中・再生中
赤点滅	ファン故障時 ※修理をご依頼ください。

※明るさを最小にした場合は、アクセスランプは消灯になります。

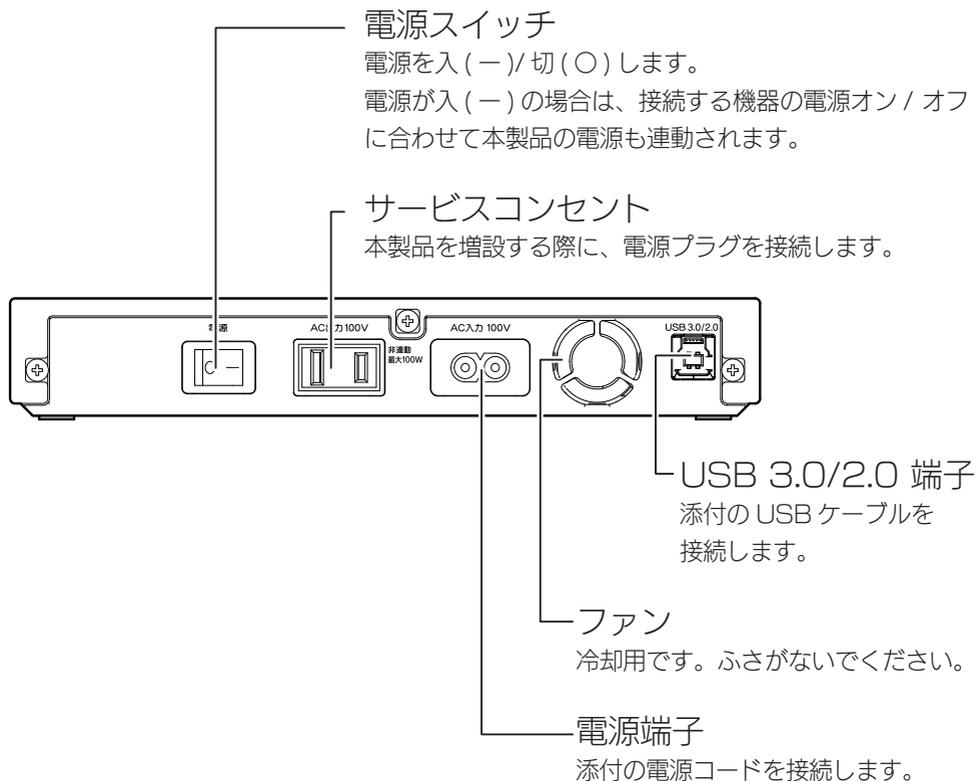
ランプ表示切替タッチセンサー

長押しするたびに、パワーランプの色を次の順に切り替えます。



短押しするたびに、パワーランプとアクセスランプの明るさを3段階で切り替えます。

パワーランプ	明 → 普通 → 暗
アクセスランプ	明 → 普通 → 消灯



設置について

- 本製品をオーディオラックやテレビ台に設置する場合は、熱が発生する他の機器との間隔を充分にあげ、温度が上昇しないよう風通しを良くしてください。高温の環境で使用すると故障の原因になります。
- 本製品の上や下に熱を発生する機器を置かないでください。
- サービスコンセントは本製品の増設専用です。本製品以外の機器は接続できません。

電源について

- 録画(書き込み)や再生(読み込み)中に、電源スイッチを OFF にしたり、電源コードを抜くと、データが消失する場合があります。
- 本製品を強制電源 OFF にする場合には、接続した機器の電源が OFF になってから、本製品の電源スイッチを OFF にしてください。

ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.0、USB 2.0
出荷時フォーマット	NTFS
電源	AC100V 50/60Hz 9W(TYP)
使用温度範囲	5～40℃（接続機器の動作範囲であること）
使用湿度範囲	20～80%（結露なきこと、接続機器の動作範囲であること）
本体質量（本体のみ）	約 1.4kg
外形寸法（突起部含まず）	約 215(W) × 187(D) × 34.5(H)mm

パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後に OS に表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

●本製品の容量

1G バイト = 1,000M バイト、1M バイト = 1,000,000 バイトで計算

●OS 上で表示される容量

1G バイト = 1,024M バイト、1M バイト = 1,048,576 バイトで計算

例) 2T バイトのハードディスクの場合

仕様容量：約 2T バイト

OS 上の表示：約 1,862G バイト

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない



火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない



感電の原因となります。

電源コードや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない



水や洗剤などが電源コードや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- ・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に乗らないでください。
- ・万一、電源コードや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

決められた電源で使用する



所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない



本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない



火災の原因となります。

⚠ 警告 ●電源 (コード・プラグ) について

電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない



電源コードから発煙したり火災の原因になります。

AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントに接続しない



発熱、火災の恐れがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などしない



火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の電源コードは、他の機器に接続しない



添付の電源コードは、本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない



火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない



電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない



テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない



破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない



足を引っ掛けると、ケガの原因になります。

使用上のご注意

- 本製品を接続時、他の USB 機器を使う場合に以下にご注意ください。
 - ・本製品の転送速度が遅くなることがあります。
 - ・本製品を USB ハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、接続機器の USB ポートに直接、接続してください。
- 起動用ドライブとしてはご使用いただけません。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS 起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。
- ご利用のパソコンにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
- 本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
 - ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
 - ・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
 - ・市販のクリーニングキットは使わない。
- 譲渡・廃棄の際のご注意
 - ・データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。弊社製「DiskRefresher3 SE」をダウンロードしてご利用いただけます。(<http://www.iodata.jp/lib/>)
 - ・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/support/>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3015

※受付時間 9:00~17:00 月~日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



修理について

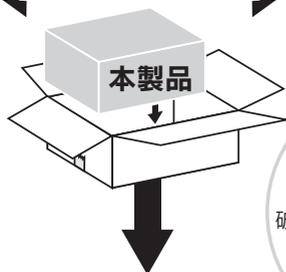
修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書または
お買い上げ時のレシート

メモ

●氏名 ●住所
●電話番号 ●FAX 番号
●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の
修理依頼書を印刷すると便利です。



梱包は厳重に!

弊社到着までに
破損した場合、有料修理と
なる場合があります。

宅配便で送付

紛失をさけるため宅配
便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

2015.6.15

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

最新ニュースや電子カタログをスマホで見られる
「IOカタログ」アプリ!パソコンからも閲覧OK。
無料ダウンロードはこちら。

<http://catalog.iodata.jp/sp/>



【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

ホームページ <http://www.iodata.jp/>